

# 新祭時大橋が待望の開通

岩手・宮城内陸地震で落下した国道342号に架かる祭時大橋の新橋が完成し、12月18日、開通しました。同地震に

よる被災の象徴的存在だった祭時大橋の落下。新橋の開通に、関係者や地域住民が喜び合いました。



1 三代渡り初めて橋の開通を祝いました  
2 関係者がテープカット  
3 新橋から飯橋(中央付近)、落下した橋(右奥)を望む



午前10時30分から行われた開通式では、藤尾善一県南広域振興局長が「祭時大橋の落下は衝撃的だったが早期に着工し、予定より3カ月早く開通できた。地権者や工事関係者に心から感謝する」と式辞。勝部市長は「復興は元に戻すだけでなく以前よりよくな

らないといけないと考えているが、最新技術を駆使したこの橋は復興のシンボルとして愛される橋になると考える。落下した橋も防災教育に活用していきたい」と祝辞を述べました。

た佐藤直樹さん(39)は「厳美町字祭時IIは、現在も余震が続く中暮らしている。橋の開通は一区切りとなる出来事で、ほっとしている」と喜びを語りました。

## 昇仙橋も完成、市工事は終了

市道矢櫃線の昇仙橋の架け替え工事が完了し、12月14日、通行止めが解除になりました。同橋は、矢櫃ダムを見上げる場所に位置する歩行者専用の橋。岩手・宮城内陸地震により橋の根本から落下したことから、新しい橋に架け替えました。新橋は橋長42・5メートル、幅員4.4メートル。型式は旧橋と同じRCアーチ橋で、磐井川から橋までの高さは、約18メートル。21年8

月に着工し、総工費は9495万円です。同工事は終了により、地震発生から2年6カ月で、市が担当する土木施設の災害復旧工事はすべて完了しました。市が行った岩手・宮城内陸地震関係の土木施設災害復旧工事は、道路46カ所、河川11カ所、橋梁6カ所。復旧延長は9004.9メートル。総事業費は9億6100万円となりました。



新しく架け替えられた昇仙橋(手前のアーチ型の橋)

## 高 校 駅 伝

### 一関学院16年連続全国へ



全国での活躍を誓った佐藤主将(左)

きました。周囲への感謝の気持ちを持って、行つてきます」と力強く述べ、千葉裕司監督は「選手が100万全な体制で競技に臨めるよう、コンディションを整えていきたい。3位入賞の目標は選手たち自身がたてたことで、意義があると考えている。皆さんの期待に添えるよう頑張りたい」と決意を語りました。

勝部市長は「毎年出場しているので土地勘もあり有利なはず。私も現地で応援します。いい結果を期待しています」と激励しました。

一関学院高校陸上競技部は、全国高等学校駅伝競走大会(12月26日、京都市開催)への出場を決めました。16年連続20回目の出場となる同校。小野寺佳代子校長ら同校関係者が12月8日、市役所本庁を訪れ、大会での健闘を誓いました。

10月15日、花巻市で行われた県大会では、記録2時間8分36秒、全区間で区間賞を記録し圧倒的な強さで16連覇を果たした同校。11月11日、大船渡市で行われた東北大会では、青森山田に次ぐ2位の成績を収めました。

全国大会では、4年ぶりの入賞が期待されています。



喜びを語った金秀也会長(右はじ)、林崎恵美子副校長(左から2人目)

## 小 民 洪 PTA

### 全国協議会会長表彰受賞

洪民小学校父母と先生の会(金秀也会長は、日本PTA全国協議会会長表彰を受賞。金会長と同小の林崎恵美子副校長が12月7日、市役所本庁を訪れ、勝部市長と藤堂教育長に受賞を報告しました。金会長は「学校統合が決まり2年後の閉校が決まっている中、受賞は明るい話題。地区で喜びを分かち合いたい」と語りました。勝部市長は「これ

までの活動の積み重ねが受賞に結び付いたもの。おめでとうございます」と祝福しました。同校は少子化が進む中、地域を巻き込んだPTA活動を展開。20年以上続く資源回収は、年1回、新聞やびんなどを回収。今年はエコキャップボランティアを開始。約4万個集まり、50人分のポリオワクチンとなりました。

## 文化センター競技場を使用中止

一関文化センター競技場について、内装資材のアスベスト含有調査を実施した結果、アスベストの含有が確認されました。

このことから、22年12月9日から、同競技場の使用を中止しています。その後、アスベストの飛散状況を調査したところ、い

観点から、露出しているアスベストの除去工事を行います。4月以降に同競技場の利用を再開する予定です。利用者の皆さんにはご迷惑をおかけすることになります。ご理解とご協力をお願いします。

◎問い合わせ先:  
教育委員会生涯学習文化課  
☎6594